



患者と研究者 撲滅へ交流会

スマイルリボン全国大会

ATL、HAM原因ウイルス

東京都内であった。関連ウイルスの研究者が集まる国際学会に合わせて開かれ、患者らは活動をアピールした。

7、10日にあった国際ヒトレトロウイルスHTLV会議で会長を務めた山野嘉久・聖マリアンナ医科大学教授が、患者と国内外の研究者が直接交流する機会を作ろうと8日に企画。約150人が集まった。スマイルリボンの菅付加代子代表は大会後、「外国の研究者から現地で患者会を作りたいという声も出た。私たちの活動を海外に発信することも考えたい」と話した。

研究者側はHTLV-1治療研究の最前線を講演したほか、臨床試験への協力を呼び掛けた。山野教授は講演で、発症後の進行状況は患者によって大きく異なると指摘し、「患者と協力して治療法を作りたい」と述べた。

国際学会には23カ国から患者を含め約420人が参加した。(種子島時大)

HTLV-1の患者と研究者が交流したスマイルリボンの全国大会 〓東京

18th International Conference on
Human Retrovirology

HTLV & Related Viruses

March 7-10, 2017
Hotel Grand Arc Hanzomon
Tokyo, Japan

For more information
<http://htlv2017.org>